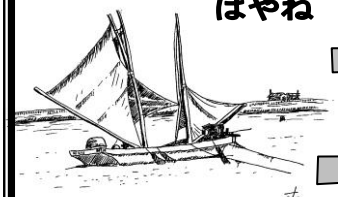
はやね　はやおき　朝ごはん　テレビを止めて外遊び

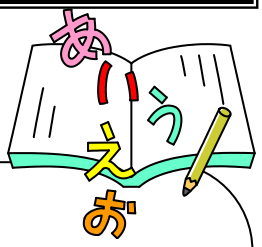


三角帆

<みんなのめあて>～がんばる・考える・思いやる～

平成２７年度
別海町立野付小学校
学校だより　No.5
平成２７年７月２３日
発行責任者
校長　音 川 忠 志

努力を継続する夏休み！



１学期終了。ありがとうございました！

８１名でスタートした今年度でしたが、７３日間の１学期が本日大きな事故もなく終了することができました。終業式では、各学年代表の児童から作文発表とスライドを見ながら、思い出の多い１学期を振り返りました。PTA や地域のみなさんには、ご支援後協力いただきましたことに感謝いたします。

夏休みは、自立心が育つ。努力の継続を！

夏休みを前に、１４日の全校朝会で「一粒の米」のお話をしました。

『むかし、江戸時代に新井白石と言うえらい学者がいました。でも、子どもの頃は、勉強が嫌いで、朝から晩まで友達と遊びまわっていたそうです。それを見たお父さんが、白石にこんな話をしました。

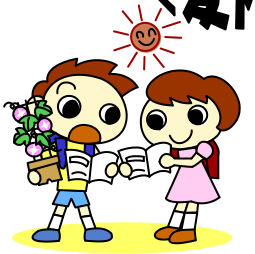
お米を入れる箱・米びつから、一粒の米をとっても、お米が減ったかどうか分からない。
けれども、１年、２年、３年と毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことが分かる。
反対に、米びつに一粒ずつ米を加えても、増えたかどうかはわからない。
けれども、１年、２年、３年と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことがわかる。
勉強や習い事も同じだ。１日だけ勉強したり練習しても、すぐに賢くなったり、上手になったりすることはない。反対に１日怠けたからといって、翌日に、すぐに分からなくなったり、下手になったりすることはない。
けれども、毎日、毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、１年や２年後には分かるようになり、上手になったことも分かる。毎日少しだけでも怠けていると、気がついたときには勉強も分からなくなり、下手にもなってしまっているものだ。』

と言う、ちょっと高学年向けのお話です。低学年にもイメージしてもらおうと、ちょっとアレンジして、卓球の玉を３６５個見せながら、努力を継続することの大切さをお話しました。

とは言っても、小学生にとって「努力を継続する」ことは、難しい事です。特に夏休みは、子どもの頑張る気持ちを打ち砕く誘惑が多くなり、難しさのレベルがぐんと上がります。２６日間の夏休み中、どんな小さな目標であっても努力を継続できるよう、家族みんなの優しい一言や、時には真顔で説教するなどの周囲のサポートをお願いいたします。

８月１９日（水）の２学期始業式で、一段とたくましくなった子ども達に会えるのを楽しみにしています。

校長　音川　忠志



<夏休み>７月２４日（木）～８月１８日（火）
<始業式>８月１９（水）
＊事故なく、ケガなく、楽しい思い出を！